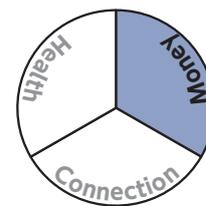


向こう1年間の市場見通し (3月6日時点)



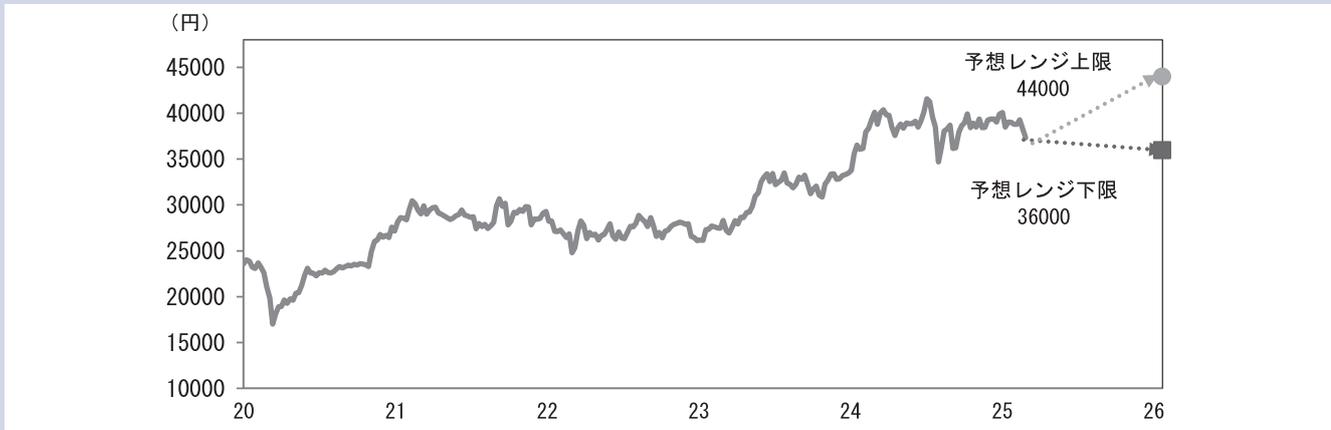
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一 (ふじしろ こういち)

予想コメント

	コメント
株式	日本株は米国の政策不透明感が強い下、上値が重くなっている。先行きは、米景気が堅調に推移する中、中国の景気対策への期待感もあり、投資家心理の改善が期待されるものの、トランプ関税の脅威が和らぐには時間を要するだろう。もっとも、日本企業の積極的な株主還元が下値を支えよう。
ドル円	米国はインフレ率が高止まりしており、市場参加者はFRBの利下げ終了を意識している。トランプ氏の掲げる政策(関税、移民抑制)によってインフレ率が再加速すれば、日米金利差拡大を通じた円安も考えられるが、日銀の利上げ観測もありドル円は160円を超える円安は想定しにくくなっている。
金利	日銀は25年1月に追加利上げを実施し、政策金利は0.5%となった。今後も半年に一度程度の利上げが続き、26年1月までに1%へ到達する可能性がある。長期金利は日銀による国債買い入れが続く下、1%台半ばで推移するとみている。

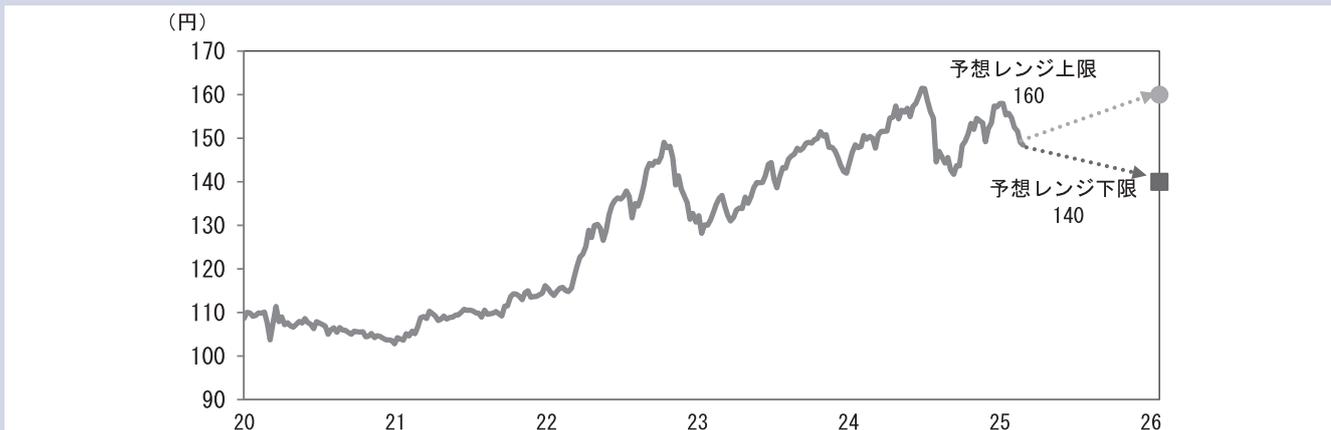
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成

向こう1年間のドル円相場



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成